

2010年 ストランディングネットワーク北海道 活動報告書



2011年6月

ストランディングネットワーク北海道



はじめに

ストランディングネットワーク北海道(SNH)では、積極的に北海道内のストランディング(座礁・漂着・混獲)情報を収集しました。その結果、2010年には71件76頭の通報を受けましたので、その概要を報告します。

ストランディング情報は、SNH 会員からの通報の他、一般の方からは専用電話「北海道いるか・くじら110番」および電子メールにて通報を受けています。また、ネズミイルカやイシイルカについては、一部地域の漁業者に依頼し、直接情報提供を受けました。SNH が受報したストランディング情報はメーリングリストおよびホームページで情報を公開するとともに、逐次日本鯨類研究所(日鯨研)・国立科学博物館に報告しました。また、日鯨研が受報した北海道のストランディング情報のうち、SNH を経由しなかったものについては、日鯨研が公表したストランディングレコードより転記しました。

2010年1~12月までに71件76頭の北海道沿岸の鯨類ストランディング情報を受けました。そのうち日鯨研ストランディングレコードより転記したものは10件10頭でした。

特筆すべきストランディングとしては、2010年9月25日に函館市(津軽海峡)において、タイハイヨウアカボウモドキ(619cm ♀)の漂着個体(SNH10053)が発見され、9月26日にSNHが国立科学博物館の指導のもと調査しました。本種の漂着等の報告は世界で十数例、日本沿岸での報告は2002年7月に鹿児島県川内市で漂着して以来2件目です。SNH10053は鮮度も保たれており、また想定されていた分布域より大幅に北で漂着したことから、分布、形態や食性に関する貴重な情報・試料が得られました。メディアにも広く取り上げていただきました。

2010年3月26日に留萌郡小平町(日本海)においてザトウクジラ(1020cm ♀)の漂着個体(SNH10008)が発見されました。3月29日にSNHが国立科学博物館の指導のもと調査し、骨格を小平町内に埋設しました。ザトウクジラの道内での報告例は道内での報告は1988年8月、1998年9月根室市、2003年12月函館市(噴火湾)、2004年5月湧別町(オホーツク海)の4件のみ、日本海沿岸での報告は1986年12月富山県氷見町、2002年5月京都府伊根町、2005年1月石川県七尾市の3例のみで、北海道日本海沿岸での初めての報告となりました。小平町には一方ならぬご協力をいただきました。帰り際に、となりの留萌でツチクジラ(SNH10011)が漂着し、旅程を一日伸ばして、急遽調査することとなりました。1週間後の4月7日八雲町落部に12mのマッコウクジラ(SNH10013)が漂着しました。非常に大きな個体で、調査には大変苦労しました。学生が尽力してくれました。

6月には、羅臼でのイシイルカの混獲の報告が相次ぎました(SNH10026など)。これは東京農大の小林万里先生が積極的に情報収集した結果によるものです。情報と標本の提供、ありがとうございました。

10月30日羅臼(SNH10055)と11月24日稚内(SNH10057)でシャチが漂着しました。シャチの漂着はSNHが始まった2007年以来初めてです。

7月10日~9月26日まで、国立科学博物館で大哺乳類展 海のなかまたち が開催され、大変多くの方にストランディング調査の成果を見ていただく機会となりました。ストランディングネットワーク北海道が関わった漂着鯨の標本も多数展示されていました。

11月6日~7日には、北水祭において骨格標本の展示も行われ、函館の多くの皆様にも見ていただく機会ができました。

SNHの活動、特に調査には、北海道大学鯨類研究会等の学生が大変尽力してくれています。彼らの協力はなしには、これだけの調査は出来ません。また、関係研究機関からも、たくさんの援助、協力をいただいております。感謝いたします。

SNHでは、引き続き道内の漂着鯨類情報および標本採集を行い、鯨類研究に寄与したいと考えています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

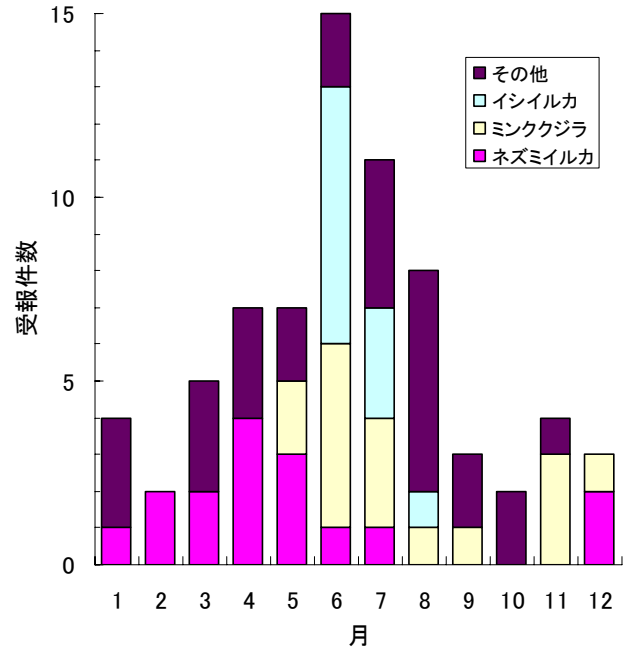
ストランディングネットワーク北海道
代表 松石 隆

2010年北海道沿岸におけるスタンディングの概要

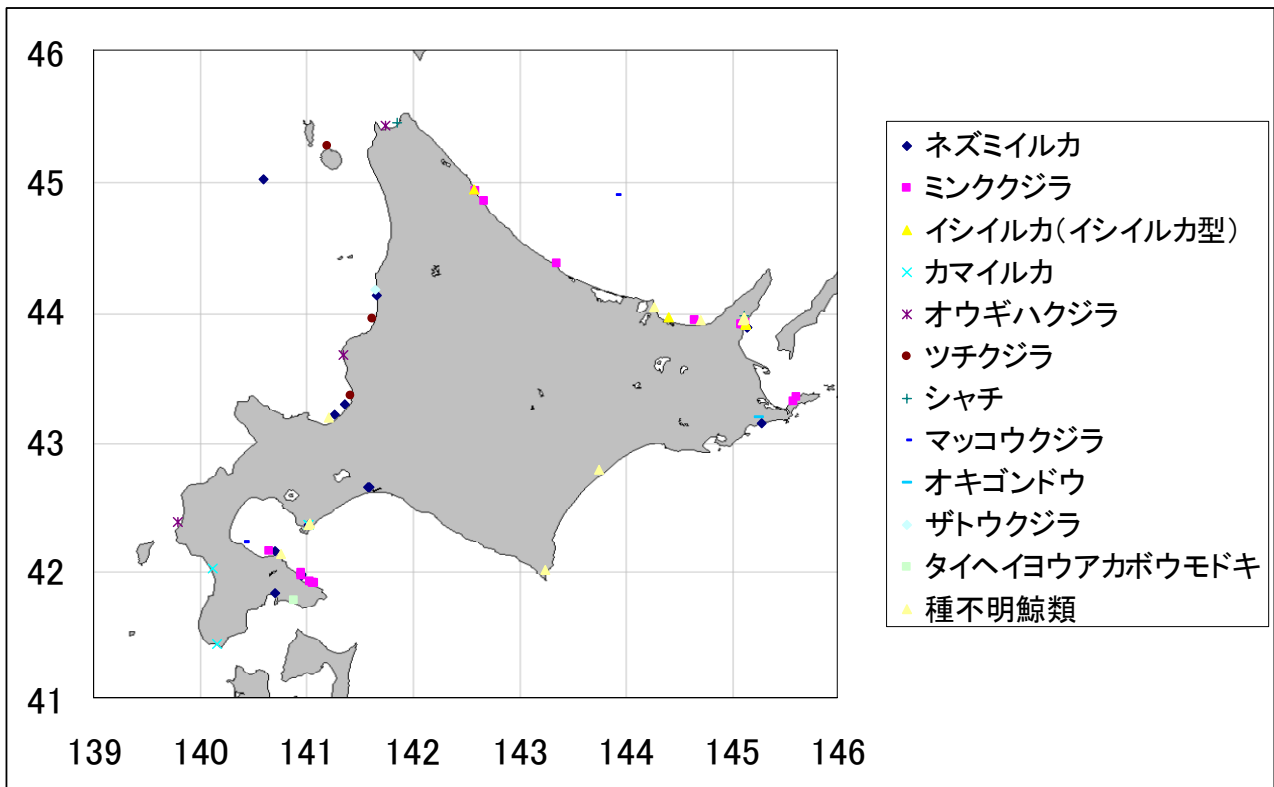
鯨種別受報件数

種名	件	頭
ネズミイルカ	16	16
ミンククジラ	16	16
イシイルカ(イシイルカ型)	11	16
カマイルカ	4	4
オウギハクジラ	3	3
ツチクジラ	3	3
シャチ	2	2
マッコウクジラ	2	2
オキゴンドウ	1	1
ザトウクジラ	1	1
タイヘイヨウアカボウモドキ	1	1
種不明イルカ類	7	7
種不明アカボウクジラ科鯨類	2	2
種不明ナガスクジラ科鯨類	1	1
種不明ネズミイルカ科鯨類	1	1
合計	71	76

月別受報頭数



種別漂着地理分布



2010年ストランディング情報

2010年1月1日～12月31日受報分

SNH 整理番号 / 日本鯨類研究所ストランディングレコード登録番号

鯨種 発見場所 / 座礁・漂着・混獲

発見日時: 発見した日時

受報日時: SNH が受報した日時

発見場所: 発見場所の詳細 (海域) 津軽海峡/噴火湾/太平洋/根室海峡/オホーツク海/日本海に分類

緯度経度: 緯度経度(WGS84) [緯度経度の根拠]

発見状況: [発見時の生死] 発見の経緯・発見時の状況

受報時状況: [受報時の状態] 受報時の状況

生物情報: 体長:[測定者/測定方法] 性別: 写真:撮影者 鯨種判定:判定者/判定方法

標本: SNH が採取・譲渡した標本等 科博:科博 愛媛大:愛媛大学 日鯨研:日本鯨類研究所 九大:九州大学 酪農大:酪農学園大学 帯畜大:帯広畜産大学 北海道医療大学:道医大 東京農業大学:東農大 北大:北海道大学
※譲渡先が標本を必ずしも保管しているとは限りません。全量と書かれているもの以外は全て若干量です。

通報経路: SNH まで情報が届くまでの経路

備考: その他参考事項

凡例

SNH10001 / O-2752

カマイルカ 爾志郡乙部町 / 漂着

発見日: 2010年1月4日9時30分

受報日: 2010年1月6日10時30分

発見場所: 爾志郡乙部町栄浜 19 セラーズはっとり裏海岸 (日本海)

緯度経度: 41-59-56.14N 140-07-20.15E [地名]

発見状況: [死亡] 匿名住民が乙部町役場に通報・食害があるものの、全身が揃っている

受報時状況: [腐敗] 対処待ち

生物情報: 体長:217.5cm[乙部町水産商工課] 性別:♀ 写真:乙部町水産商工課 鯨種判定:SNH

標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・乳腺/甲状腺(左右) 日鯨研:筋肉 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・乳腺・肺・心臓・血液 九大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓 酪農大:脂皮/脾臓・膀胱・腸 (各全量) 北大:脂皮・筋肉/卵巣(左右)/胃(全量)/全身骨格

通報経路: 乙部町水産商工課→SNH



SNH10002 / O-2755

ツチクジラ 石狩市 / 漂着

発見日: 2010年1月20日16時30分

受報日: 2010年1月20日17時05分

発見場所: 石狩市厚田区嶺泊地区 (日本海)

緯度経度: 43-20-9.22N 141-25-21.29E [地名]

発見状況: [死亡] 降雨により雪が解け、雪の中から鯨類の死亡個体が姿を現したところを匿名住民が発見し、石狩市厚田支所に連絡した。厚田支所では、同日、ストランディングネットワーク北海道に通報するとともに、現場を確認した。1月21日、頭部形態を確認しストランディングネットワーク北海道と協議の上、23日に、処分することを決定した。死後の食害等はほとんど無い状態であった。

受報時状況: [腐敗] 対処待ち。人家も近くないので、処分を急がない

生物情報: 体長:421.8cm[厚田支所] 性別:♀ 写真:厚田支所 鯨種判定:山田格

標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 日鯨研:筋肉 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 九大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 酪農大:脂皮/脾臓・膀胱・腸(各全量) 北大:脂皮・筋肉

通報経路: 厚田支所→SNH



SNH10003 / O-2756

ネズミイルカ 北海道西方沖 / 混獲

発見日: 2010年1月12日
受報日: 2010年1月25日13時32分
発見場所: 北海道西方沖武蔵礁 水深200m (日本海)
緯度経度: 45-00-00N 140-36-00E [地名]
発見状況: [死亡] タラ刺し網に混獲 水深200m
受報時状況: [死亡・新鮮] 既に処分済み
生物情報: 体長:150cm[漁業者した漁業者(目測)] 性別:不明 写真:発見した漁業者 鯨種判定:SNH
通報経路: 漁業者→北大学生→SNH



SNH10004 / O-2759

オウギハクジラ 久遠郡せたな町 / 漂着

発見日: 2010年1月29日7時55分
受報日: 2010年1月29日11時32分
発見場所: 久遠郡せたな町北檜山区新成453番地先(鵜泊地区) (日本海)
緯度経度: 42-21-14.91N 139-47-22.89E [現場地図]
発見状況: [死亡] 工事現場にて現場作業員が発見。発見時は海岸線に打ち上げられていた。腐敗がひどく、口から内蔵が出ている状態。胸鰭も形が無くなっている。
受報時状況: [腐敗進行] 1/29 13:30より埋却処分作業
生物情報: 体長:4.7m, 1t[せたな町水産振興係(目測)] 性別:不明 写真:せたな町水産振興係 鯨種判定:SNH
通報経路: 工事作業員→瀬棚海上保安署→せたな町、報道機関→SNH→せたな町



SNH10005 / O-2762

ネズミイルカ 小樽市 / 漂着

発見日: 2010年2月13日12時00分
受報日: 2010年2月13日15時53分
発見場所: 小樽市銭函5丁目 石狩湾新港付近(十線浜) (日本海)
緯度経度: 43-11-9.25N 141-16-2.18E [実測]
発見状況: [死亡] 地元住民がビーチコーミング中に発見。食害多数。
受報時状況: [ミイラ・白骨化] 放置
生物情報: 体長:140cm[志賀] 性別:♂ 写真:志賀健司/伊藤静孝 鯨種判定:SNH
通報経路: 地元住民→志賀→SNH
備考: 第一発見者ブログ <http://aoigai.exblog.jp/9948177/>



SNH10006 / O-2770

ネズミルカ 苫小牧市 / 漂着

発見日: 2010年2月26日16時00分
受報日: 2010年2月26日17時45分
発見場所: 苫小牧市元町1丁目8-18 中央院裏海岸(太平洋)
緯度経度: 42-37-28.49N 141-35-22.28E [地名]
発見状況: [死亡] 匿名住民が発見し通報。腐敗・食害あり
受報時状況: [腐敗] 26日~27日に全身回収
生物情報: 体長:1.4m[苫小牧市博物館] 性別:不明 写真:
苫小牧市 鯨種判定:SNH
通報経路: 匿名住民→苫小牧市清掃事業課→苫小牧市農業
水産課→苫小牧市博物館→SNH



SNH10007 / O-2776

オウギハクジラ 稚内市 / 漂着

発見日: 2010年3月19日9時30分
受報日: 2010年3月19日11時30分
発見場所: 稚内市声間2丁目41番地先海岸(声間岬)(日本海)
緯度経度: 45-24-46.05N 141-44-45.11E [地名]
発見状況: [死亡] 海岸線より5mほど沖に漂着
受報時状況: [腐敗] 3/19 13:00より処分場へ移動
生物情報: 体長:442.0cm[SNH 北村] 性別:♀ 写真:稚内市
鯨種判定:SNH 北村
標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・乳腺/胃・胃内容物
(全量)/卵巣(左右)/肛門扁桃 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・心臓・肺・血液・乳腺 九大:脂
皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 酪農大:脂皮・筋肉/腸(全量) 北大:脂皮・筋肉
通報経路: 発見者→稚内漁組→9:50 頃稚内市衛生課→土木課→港湾課→宗谷支庁水産課及び稚内水産試
験場へ連絡、SNH



SNH10008 / M-1560

ザトウクジラ 留萌郡小平町 / 漂着

発見日: 2010年3月26日7時10分
受報日: 2010年3月26日10時19分
発見場所: 留萌郡小平町北海道留萌郡小平町鬼鹿広富(日本海)
緯度経度: 44-09-1.12N 141-39-11.09E [地名]
発見状況: [死亡] 午前7時10分頃、一般住民より「クジラ」が
浮遊している旨の通報を小平町役場が受ける。通
報を受け、役場経済課商工水産係及び生活環境
課環境衛生係の担当者が午前8時45分頃現地を
確認する。現場は小平町字鬼鹿広富(道の駅「お
びら鯨番屋」より羽幌方向へ約200m地点、バス停第一広富前)で、クジラは陸から約200m地点で浮
遊している状態であった。(クジラの大きさは推定10mで、腹部を上に向けて浮遊。)
受報時状況: [腐敗] 本日の天候状況等を鑑み、現時点では様子を見ることとし、陸地漂着後は埋設処分。
生物情報: 体長:約10m[目測/現場] 性別:不明 写真:小平町 鯨種判定:SNH,ICR 石川
標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・生殖腺 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 九大:脂皮・筋肉・肝臓・
腎臓 酪農大:脂皮・筋肉 斜里町立知床博物館:骨格(全部)・ヒゲ板(一部) 北海道開拓記念
館:ヒゲ板(一部) 北大:脂皮・筋肉ヒゲ板(一部)
通報経路: 一般住民→小平町経済課商工水産係、生活環境課環境衛生係→SNH



SNH10009 / O-2778

ネズミイルカ 石狩市 / 漂着

発見日: 2010年3月26日13時00分
受報日: 2010年3月28日10時21分
発見場所: 石狩市浜町 石狩浜(石狩川河口のすぐ南西側)
(日本海)
緯度経度: 43-15-58.4N 141-22-00.3E [実測]
発見状況: [死亡] 半白骨化
受報時状況: [ミイラ・白骨化] 頭骨と筋肉・脂皮を採集の後放置
生物情報: 体長:141cm[志賀] 性別:不明 写真:志賀 鯨種判定:志賀
通報経路: 地元住民→海浜植物保護センター職員(3/26)→志賀→SNH



SNH10010 / O-2780

ネズミイルカ 留萌郡小平町 / 漂着

発見日: 2010年3月31日11時00分
受報日: 2010年3月31日11時00分
発見場所: 留萌郡小平町鬼鹿富岡(日本海)
緯度経度: 44-06-15.4N 141-39-34.7E [実測]
発見状況: [死亡] SNH10008 調査員が、オットセイ漂着の情報を得て現場に出向く途中に発見
受報時状況: [腐敗進行] 全身を回収
生物情報: 体長:121.5cm[SNH 堀本] 性別:♀ 写真:SNH 堀本 鯨種判定:SNH 堀本
標本: 科博:脂皮・筋肉・腎臓・肝臓/肛門扁桃 愛媛大:脂皮・筋肉・腎臓・肝臓・肺 九大:脂皮・筋肉・腎臓・肝臓・肺 酪農大:脂皮・筋肉・腸/脾臓・膵臓(全量) 北大:脂皮・筋肉/頭骨/胃(全量)/卵巣(右)
通報経路: 調査員→SNH
備考: 4/2 解剖



SNH10011 / O-2781

ツチクジラ 留萌市 / 漂着

発見日: 2010年3月31日16時30分
受報日: 2010年3月31日17時00分
発見場所: 留萌市北海道留萌市沖見町3丁目35 浜本商店前浜(日本海)
緯度経度: 43-55-53.97N 141-37-54.30E [地名]
発見状況: [死亡] 浜本商店より留萌市役所に通報があり、同日中に留萌市が現地確認
受報時状況: [腐敗進行] 4/1 留萌市が最終処分場「留萌市美サイクル館」に移動、SNHが調査後、留萌市が処分
生物情報: 体長:714cm[留萌市] 性別:♀ 写真:留萌市 鯨種判定:SNH
標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓・血液 九大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 酪農大:脂皮・筋肉 北大:脂皮・筋肉/胃(前胃・主胃)
通報経路: 留萌市→小平町→SNH



SNH10012 / O-2783

ネズミルカ 北斗市 / 漂着

発見日: 2010年4月4日16時00分
受報日: 2010年4月4日17時25分
発見場所: 北斗市七重浜 1丁目22地先海岸 (有)サンコー加工裏 (津軽海峡)

緯度経度: 41-48-31.34N 140-42-33.49E [地区]
発見状況: [死亡] 北大水産学部学生が発見。背側の一部が刃物で切り取られている

受報時状況: [腐敗] 全身回収済み
生物情報: 体長:133cm[SNH 北村] 性別:♀ 写真:SNH 堀本 鯨種判定:SNH

標本: 科博:脂皮・筋肉・腎臓・肝臓・肛門扁桃 愛媛大:脂皮・筋肉・腎臓・肝臓・肺・心臓・脳 九大:脂皮・筋肉・腎臓・肝臓・肺・心臓・肺辺縁リンパ・浅頸リンパ(各 左全量) 酪農大:脂皮・筋肉/脾臓・膵臓・腸(全量)/肛門から出てきた寄生虫?のようなもの(99.5%アルコール固定) 北大:脂皮・筋肉/胃(全量)/卵巣(左右)/歯

通報経路: 北大生→北大鯨研→SNH
備考: 4/5 9:00より北大函館で解剖



SNH10013 / O-2785

マッコウクジラ 二海郡八雲町 / 漂着

発見日: 2010年4月7日7時00分
受報日: 2010年4月7日9時33分
発見場所: 二海郡八雲町落部 落部川河口より東に 100m (太平洋)

緯度経度: 42-11-39.379N 140-25-26.932E [実測]
発見状況: [生存] 4/7 朝 落部漁港内に迷入したところを発見、その後、漁港の外に出たが浅瀬に座礁し、死亡

受報時状況: [生存] 横倒しで浅瀬に乗っている。弱っていて、処分を検討すること

生物情報: 体長:11.77m[SNH] 性別:♂ 写真:SNH 鯨種判定:SNH

標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・血液 九大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 酪農大:脂皮・筋肉・腸 道医大:筋肉・肝臓・腎臓・肺・精巣・脂皮・血液 北大:脂皮・筋肉・胃内容物・精巣(右)・歯

通報経路: 八雲町→SNH



SNH10014 / O-2786

ネズミルカ 函館市 / 混獲

発見日: 2010年4月8日5時24分
受報日: 2010年4月8日5時24分
発見場所: 函館市白尻町 久二野村水産定置網 (太平洋)
緯度経度: 41-57-09.2N 140-57-01.7E [実測]
発見状況: [生存] 北大調査員が乗船中に発見。定置網内を遊泳

受報時状況: [生存] 収容準備中
生物情報: 体長:137cm[北大] 性別:♂ 写真:SNH 鯨種判定:SNH

通報経路: 調査員→SNH



SNH10015 / O-2787

ネズミイルカ 函館市 / 混獲

発見日: 2010年4月15日5時47分
受報日: 2010年4月15日5時47分
発見場所: 函館市白尻町 白尻水産株式会社定置網 (太平洋)
緯度経度: 41-56-12.35N 140-57-20.23E [実測]
発見状況: [生存] 北大調査員が乗船中に発見 定置網中に2個体が目撃されたものの、混獲されたのは1個体のみ
受報時状況: [生存] 収容準備中
生物情報: 体長:133cm[北大] 性別:♀ 写真:北大 鯨種判定:北大
通報経路: 調査員→SNH



SNH10016 / O-2789

オウギハクジラ 石狩市 / 漂着

発見日: 2010年4月15日12時00分
受報日: 2010年4月15日16時50分
発見場所: 石狩市浜益区幌33-11地先海岸 (日本海)
緯度経度: 43-38-55.57N 141-21-7.95E [地名]
発見状況: [死亡] 石狩振興局水産室職員が漁港巡視中に発見。石狩振興局および石狩市浜益支所よりストラディンゲネットワーク北海道が報告を受けた。
受報時状況: [腐敗進行] 放置
生物情報: 体長:503.5cm[SNH 北村] 性別:♂ 写真:SNH 鯨種判定:SNH
標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓/胃・胃内容物(全量)/生殖腺(左右)/肛門扁桃/頭骨 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・血液 九大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 酪農大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・心臓・肺・脾臓・膀胱/腸(全量) 道医大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・脾臓・血液 北大:脂皮・筋肉
通報経路: 石狩振興局→SNH



SNH10017 / O-2793

ネズミイルカ 茅部郡森町 / 漂着

発見日: 2010年4月18日9時59分
受報日: 2010年4月18日9時59分
発見場所: 茅部郡森町砂原 砂崎灯台西南西600m (太平洋)
緯度経度: 42-08-09.20N 140-42-11.92E [実地]
発見状況: [死亡] 全身白骨化
受報時状況: [ミイラ・白骨化] 放置
生物情報: 体長:約1m 性別:不明 写真:SNH 鯨種判定:SNH
通報経路: 北大学生 平田和彦→北大学生→SNH



SNH10018 / O-2794

カマイルカ 松前郡松前町 / 漂着

発見日: 2010年3月21日9時30分
受報日: 2010年4月23日17時00分
発見場所: 松前郡松前町字荒谷下(日本海)
緯度経度: 41-24-57.61N 140-09-59.14E [地図]
発見状況: [死亡] 既に死亡していたが、異臭は無かった。
受報時状況: [死亡・新鮮] 3/21 11:20 松前町旧清掃センターに運搬し、敷地内に重機により深さ2m程度の穴を掘り、埋設処理を終了。
生物情報: 体長:約 2m[松前町] 性別:不明 写真:松前町鯨種判定:松前町・SNH
通報経路: 松前警察署→松前町役場→北大学生→SNH



SNH10019 / M-1597

ミンククジラ 函館市 / 混獲

発見日: 2010年5月6日5時09分
受報日: 2010年5月6日5時09分
発見場所: 函館市白尻町 白尻水産株式会社定置網(太平洋)
緯度経度: 41-56-12.35N 140-57-20.23E [実測]
発見状況: [生存] 定置網内に迷入しているところを、白尻水産定置網船乗組員と同乗していた北大調査員が発見。
受報時状況: [生存] 逃がそうと努力するも困難と判断され、捕獲。
生物情報: 体長:485cm[SNH] 性別:♀ 写真:なし 鯨種判定:SNH
通報経路: 調査員→SNH



SNH10020 / O-2797

ネズミイルカ 函館市 / 混獲

発見日: 2010年5月6日5時33分
受報日: 2010年5月6日5時33分
発見場所: 函館市白尻町 久二野村水産定置網(太平洋)
緯度経度: 41-57-09.2N 140-57-01.7E [実測]
発見状況: [生存] 定置網内に迷入しているところを、久二野村水産定置網船乗組員と同乗していた北大調査員が発見。
受報時状況: [生存] 介護のため、収容し北大白尻実験所に移送を試みたが、捕獲直後に死亡。
生物情報: 体長:139.3cm[SNH] 性別:♂ 写真:鯨種判定:SNH
通報経路: 調査員→SNH



SNH10021 / O-2799

ネズミイルカ 苫小牧市 / 漂着

発見日: 2010年5月7日14時40分
受報日: 2010年5月7日15時29分
発見場所: 苫小牧市浜町2丁目2-1地先海岸(太平洋)
緯度経度: 42-37-31.03N 141-35-33.96E [地名]
発見状況: [死亡] 一般市民から通報。食害あり
受報時状況: [腐敗] 処分検討中
生物情報: 体長:143.0cm[苫小牧市] 性別:♀ 写真:苫小牧市 鯨種判定:SNH



標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓/肛門扁桃 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓・脳 九大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 酪農大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・心臓・肺・脾臓・膀胱/腸(全量) 道医大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 北大:脂皮・筋肉/胃・胃内容物(全量)/卵巣(左右)

通報経路: 匿名市民→苫小牧市→苫小牧市博物館→SNH

SNH10022 / O-2806

ネズミイルカ 目梨郡羅臼町 / 漂着

発見日: 2010年5月14日16時00分
受報日: 2010年5月14日16時37分
発見場所: 目梨郡羅臼町峯浜町陸士別川河口北側(根室海峡)
緯度経度: 43-52-40.98N 145-05-43.908E [地名]
発見状況: [死亡] 海岸線にて発見。若干の食害があるものの、ほぼ新鮮。(死後2~3日程度)
受報時状況: [腐敗進行] 回収を検討中



生物情報: 体長:163.5cm[東農大小林万里] 性別:♀ 写真:桜井憲二 鯨種判定:桜井憲二

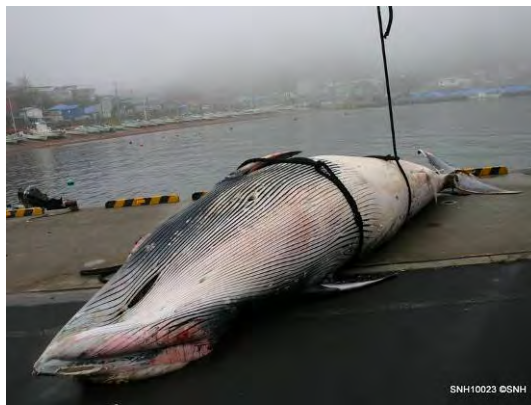
標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 愛媛大:脂皮・筋肉・心臓・肝臓・腎臓・脳・血液 日鯨研:筋肉 酪農大:脂皮・筋肉・心臓・肝臓・腎臓・膀胱・脾臓 道医大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・脾臓・血液 北大:脂皮・筋肉 東農大:脂皮・筋肉・肝臓・血液肺・胃・腸・生殖腺・骨格(全量)

通報経路: 桜井憲二→SNH

SNH10023 / M-1607

ミンククジラ 函館市 / 漂着

発見日: 2010年5月20日10時00分
受報日: 2010年5月20日10時37分
発見場所: 函館市木直町266番地地先海岸 国道278木直郵便局から東へ750m(太平洋)
緯度経度: 41-53-11.18N 141-04-33.67E [実地]
発見状況: [死亡] 漁協関係者が発見。死後数日経過。岩礁に漂っている状態。
受報時状況: [腐敗] 関係機関に連絡中



生物情報: 体長:741.5cm[SNH実測] 性別:♂ 写真:SNH 鯨種判定:SNH

標本: 科博、愛媛大、九大、酪農大、道医大、北大: それぞれ脂皮・筋肉

通報経路: 木直漁協→SNH

SNH10024 / O-2811

種不明イルカ類 網走市 / 漂着

発見日: 2010年5月19日9時00分
受報日: 2010年5月20日16時39分
発見場所: 網走市港町 網走港第5埠頭 (オホーツク海)
緯度経度: 44-00-45.83N 144-17-02.75E [地図]
発見状況: [死亡] 網走市港湾部が発見。腐敗頭著 頭部、尾部、ヒレ欠損
受報時状況: [腐敗進行] 埋め立て処理済み
生物情報: 体長:約 1m[網走市目測] 性別:不明 写真:網走市 鯨種判定:SNH
通報経路: 網走市→SNH
備考: 体重 60kg(実測)



SNH10025 / O-2866

種不明アカボウクジラ科鯨類 斜里郡斜里町 / 漂着

発見日: 2010年5月29日
受報日: 2010年5月29日16時02分
発見場所: 斜里郡斜里町以久科北 (オホーツク海)
緯度経度: 43-55-08N 144-42-45E [実測]
発見状況: [死亡] 個体の後部にロープをまいた跡があり、腐敗も進んでいる
受報時状況: [腐敗進行] 放置
生物情報: 体長:約 450cm[斜里町立知床博物館] 性別:♀ 写真:斜里町立知床博物館 村上隆広 鯨種判定:斜里町立知床博物館
通報経路: 知床博 村上→SNH
備考: 6/1に現地に行ったところ見つからなかった



SNH10026 / O-2886

イシイルカ(イシイルカ型) 目梨郡羅臼町 / 混獲

発見日: 2010年5月29日
受報日: 2010年6月2日19時00分
発見場所: 目梨郡羅臼町峯浜町 (根室海峡)
緯度経度: 43-52-36.75N 145-08-39.00E [実測]
発見状況: [死亡] 定置網に混獲
受報時状況: [死亡・新鮮] 学術目的譲渡のため岸壁に置く
生物情報: 体長:205cm[東京農大 小林万里] 性別:♂ 写真:桜井憲二 鯨種判定:東京農大 小林万里
標本: 東農大:筋肉、脂皮、肝臓、血液;肺、胃、腸、生殖腺、骨格(全量)
通報経路: 漁業者→東京農大→SNH



SNH10027 / M-1610

種不明ナガスクジラ科鯨類 茅部郡森町 / 漂着

発見日: 2010年6月3日
受報日: 2010年6月4日14時40分
発見場所: 茅部郡森町砂原東4丁目 松屋崎南東600m付近(太平洋)

緯度経度: 42-06-40.06N 140-45-43.523E [実測]
発見状況: [死亡] 周辺住民が発見。腐敗中度 ヒゲ板がナイフで切り取られている。肉を切り出そうとして断念した跡が見られる。食害は少ない。腹部が裂けて腸の一部が露出している状態

受報時状況: [腐敗] 放置

生物情報: 体長:716cm[SNH実測] 性別:♂ 写真:SNH 鯨種判定:SNH

標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・心臓・肺・血液 九大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・浅頸リンパ 酪農大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓・腸 道医大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 北大:脂皮・筋肉・精巣(右)//胃内内容物(全量)

通報経路: 住民→森町役場→SNH

備考: イワシクジラ?



SNH10028 / O-2888

イシイルカ(イシイルカ型) 目梨郡羅臼町 / 混獲

発見日: 2010年6月5日
受報日: 2010年6月7日18時57分
発見場所: 目梨郡羅臼町峯浜町(根室海峡)
緯度経度: 43-52-36.75N 145-08-39.00E [実測]
発見状況: [死亡] 定置網に混獲

受報時状況: [死亡・新鮮] 学術目的譲渡のため岸壁に置く
生物情報: 体長:194.8cm[東京農大 小林万里] 性別:♂
体長:202.3cm[東京農大 小林万里] 性別:♂

写真:桜井憲二 鯨種判定:東京農大 小林万里

標本: 科博:筋肉・脂皮・肝臓・腎臓 愛媛大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・脳・血液 日鯨研:筋肉 酪農大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・膀胱・脾臓 道医大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・脾臓・血液 北大:筋肉・脂皮 東農大:筋肉・脂皮・肝臓・血液;肺、胃、腸、生殖腺、骨格(全量)

通報経路: 漁業者→東京農大→SNH

備考: 同時2頭



SNH10029 / O-2890

イシイルカ(イシイルカ型) 目梨郡羅臼町 / 混獲

発見日: 2010年6月8日5時00分
受報日: 2010年6月8日16時19分
発見場所: 目梨郡羅臼町峯浜町(根室海峡)
緯度経度: 43-52-36.75N 145-08-39.00E [実測]
発見状況: [死亡] 定置網に混獲

受報時状況: [死亡・新鮮] 学術目的譲渡のため岸壁に置く
生物情報: 体長:194.1cm[東京農大 小林万里] 性別:♂

写真:桜井憲二 鯨種判定:東京農大 小林万里

標本: 科博:筋肉・脂皮・肝臓・腎臓 愛媛大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・脳・血液 日鯨研:筋肉 酪農大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・膀胱・脾臓 道医大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・脾臓・血液 北大:筋肉・脂皮 東農大:筋肉・脂皮・肝臓・血液;肺、胃、腸、生殖腺、骨格(全量)

通報経路: 漁業者→東京農大→SNH



SNH10030 / O-2891

種不明ネズミイルカ科鯨類 小樽市 / 漂着

発見日: 2010年6月6日5時00分
受報日: 2010年6月10日14時42分
発見場所: 小樽市大浜 ドリームビーチ (日本海)
緯度経度: 43-09-35N 141-12-41E [地図]
発見状況: [死亡] 腐敗・食害顕著
受報時状況: [腐敗進行] 放置
生物情報: 体長:約1.2m[目測/現場] 性別:不明 写真:発見者 鯨種判定:SNH
通報経路: 発見者→志賀健司→SNH
備考: 6/13 消失を確認



SNH10031 / O-2894

イシイルカ(イシイルカ型) 目梨郡羅臼町 / 混獲

発見日: 2010年6月11日
受報日: 2010年6月11日19時23分
発見場所: 目梨郡羅臼町峯浜町 (根室海峡)
緯度経度: 43-52-36.75N 145-08-39.00E [実測]
発見状況: [死亡] 定置網に混獲
受報時状況: [死亡・新鮮] 学術目的譲渡のため岸壁に置く
生物情報: 体長:210.9cm[東京農大 小林万里] 性別:♂
体長:219.1cm[東京農大 小林万里] 性別:♂
写真:桜井憲二 鯨種判定:東京農大 小林万里
標本: 科博:筋肉・脂皮・肝臓・腎臓 愛媛大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・脳・血液 日鯨研:筋肉 酪農大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・膀胱・脾臓 道医大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・脾臓・血液 北大:筋肉・脂皮 東農大:筋肉・脂皮・肝臓・血液;肺、胃、腸、生殖腺、骨格(全量)
通報経路: 漁業者→東京農大→SNH
備考: 同時2頭



SNH10032 / O-2895

イシイルカ(イシイルカ型) 目梨郡羅臼町 / 混獲

発見日: 2010年6月14日
受報日: 2010年6月14日8時15分
発見場所: 目梨郡羅臼町峯浜町 (根室海峡)
緯度経度: 43-52-36.75N 145-08-39.00E [実測]
発見状況: [死亡] 定置網に混獲
受報時状況: [死亡・新鮮] 学術目的譲渡のため岸壁に置く
生物情報: 体長:194.5cm[東京農大 小林万里] 性別:♂
体長:169.0cm[東京農大 小林万里] 性別:♀
体長:194.5cm[東京農大 小林万里] 性別:♂
写真:桜井憲二 鯨種判定:東京農大 小林万里
標本: 科博:筋肉・脂皮・肝臓・腎臓 愛媛大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・脳・血液 日鯨研:筋肉 酪農大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・膀胱・脾臓 道医大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・脾臓・血液 北大:筋肉・脂皮 東農大:筋肉・脂皮・肝臓・血液;肺、胃、腸、生殖腺、横隔膜、骨格(全量)
通報経路: 漁業者→東京農大→SNH
備考: 同時3頭



SNH10033 / O-2901

イシイルカ(イシイルカ型) 目梨郡羅臼町 / 混獲

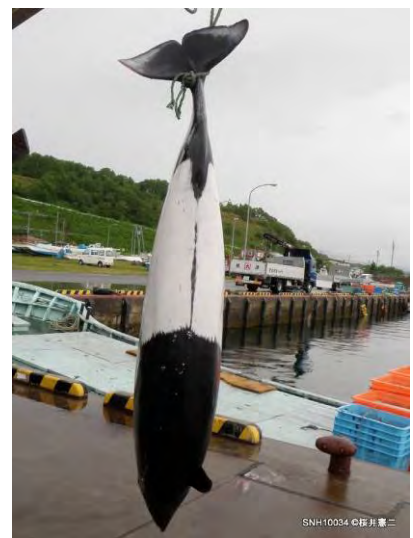
発見日: 2010年6月18日
受報日: 2010年6月18日13時46分
発見場所: 目梨郡羅臼町峯浜町(根室海峡)
緯度経度: 43-52-36.75N 145-08-39.00E [実測]
発見状況: [死亡] さけいか定置網に混獲
受報時状況: [死亡・新鮮] 学術目的譲渡のため岸壁に置く
生物情報: 体長:218.8cm[東京農大 小林万里] 性別:♂
体長:187.7cm[東京農大 小林万里] 性別:♂
写真:桜井憲二 鯨種判定:東京農大 小林万里
標本: 科博:筋肉・脂皮・肝臓・腎臓 愛媛大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・脳・血液 日鯨研:筋肉 酪農大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・脾臓・脾臓 道医大:筋肉・脂皮・心臓・肝臓・腎臓・脾臓・血液 北大:筋肉・脂皮 東農大:筋肉・脂皮・肝臓・血液;肺、胃、腸、生殖腺、血液・骨格・横隔膜(全量)
通報経路: 漁業者→東京農大→SNH
備考: 同時2頭



SNH10034 / O-2923

イシイルカ(イシイルカ型) 目梨郡羅臼町 / 混獲

発見日: 2010年6月24日6時30分
受報日: 2010年6月24日11時14分
発見場所: 目梨郡羅臼町峯浜町(根室海峡)
緯度経度: 43-52-36.75N 145-08-39.00E [実測]
発見状況: [死亡] さけいか定置網に混獲
受報時状況: [死亡・新鮮] 学術目的譲渡のため岸壁に置く
生物情報: 体長:197.0cm[東京農大 小林万里] 性別:♂ 写真:桜井憲二 鯨種判定:東京農大 小林万里
標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 愛媛大:脂皮・筋肉・心臓・肝臓・腎臓・脳・血液 日鯨研:筋肉 酪農大:脂皮・筋肉・心臓・肝臓・腎臓・脾臓・脾臓 道医大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・脾臓・血液 北大:脂皮・筋肉 東農大:脂皮・筋肉・肝臓・血液肺、胃、腸、生殖腺・骨格(全量)
通報経路: 漁業者→東京農大→SNH



SNH10035 / M-1619

ミンククジラ 目梨郡羅臼町 / 漂流

発見日: 2010年6月24日8時30分
受報日: 2010年6月24日13時22分
発見場所: 目梨郡羅臼町峯浜町(根室海峡)
緯度経度: 43-53-41.4N 145-08-00.90E [実測]
発見状況: [死亡] 定置網に寄りかかっている
受報時状況: [腐敗] 放置
生物情報: 体長:約6m[SNH写真目測] 性別:♀ 写真:桜井憲二 鯨種判定:SNH
通報経路: 桜井憲二→SNH



SNH10036 / O-2924

ネズミイルカ 厚岸郡浜中町 / 混獲

発見日: 2010年6月28日
受報日: 2010年6月28日10時01分
発見場所: 厚岸郡浜中町恵茶人沖 (榑漁港から東に7.5マイル) (太平洋)
緯度経度: 43-07-22.94N 145-17-14.36E [地名]
発見状況: [死亡] 混獲(刺網)
受報時状況: [死亡・新鮮] 冷蔵庫に保管
生物情報: 体長:132.5cm[帯広畜産大学 佐々木基樹] 性別:♂ 写真:佐々木基樹 鯨種判定:佐藤晴子
通報経路: 漁業者→市民→佐藤晴子→SNH
備考: 体重: 35.5kg



SNH10037 / M-1622

ミンククジラ 斜里郡斜里町 / 漂着

発見日: 2010年6月19日
受報日: 2010年7月1日15時02分
発見場所: 斜里郡斜里町前浜町 斜里港 (オホーツク海)
緯度経度: 43-55-06.82N 144-39-43.91E [地名]
発見状況: [死亡] 漂着
受報時状況: [処分済] 斜里町立知床博物館敷地内に埋却
生物情報: 体長:650cm[斜里町立知床博物館] 性別:不明
鯨種判定:斜里町立知床博物館
通報経路: 斜里町立知床博物館→SNH
備考: 体重 2.6t



SNH10038 / O-2927

イシイルカ(イシイルカ型) 北西太平洋 / 混獲

発見日: 2010年7月4日
受報日: 2010年7月4日3時40分
発見場所: 北西太平洋 (太平洋)
緯度経度: 44-10-00.00N 165-00-00.00E [実測]
発見状況: [死亡] 北大練習船おしよる丸が実施した流網調査において流し網に混獲
受報時状況: [死亡・新鮮] 冷蔵庫に保管
生物情報: 体長:189.5cm[SNH 北村] 性別:♀ 鯨種判定: SNH
標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓・血液・乳汁 九大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・浅頸リンパ 酪農大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓/脾臓・脾臓・腸(全量)/寄生虫(乳腺・体側・噴気孔) 道医大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 北大:脂皮・筋肉/胃・胃内容物(全量)/卵巣(左右) /全身骨格
通報経路: おしよる丸船長→SNH



SNH10039 / O-2928

イシイルカ(イシイルカ型) 目梨郡羅臼町 / 混獲

発見日: 2010年7月5日

受報日: 2010年7月5日11時20分

発見場所: 目梨郡羅臼町峯浜町(根室海峡)

緯度経度: 43-53-41.4N 145-08-00.90E [実測]

発見状況: [死亡] さけいか定置網に混獲

受報時状況: [死亡・新鮮] 学術目的譲渡のため岸壁に置く

生物情報: 体長:194.2cm[東京農大 小林万里] 性別:♂

写真:桜井憲二 鯨種判定:東京農大 小林万里

標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 愛媛大:脂皮・筋肉・心臓・肝臓・腎臓・脳・血液 日鯨研:筋肉

酪農大:脂皮・筋肉・心臓・肝臓・腎臓・膵臓・脾臓 道医大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・脾臓・血液

北大:脂皮・筋肉 東農大:脂皮・筋肉・肝臓・血液肺・胃・腸・生殖腺・骨格(全量)

通報経路: 漁業者→東京農大→SNH



SNH10040 / O-2929

種不明アカボウクジラ科鯨類 室蘭市 / 座礁

発見日: 2010年7月7日12時10分

受報日: 2010年7月7日13時56分

発見場所: 室蘭市寿町3丁目18 室蘭市蘭東下水処理場 地先海岸(太平洋)

緯度経度: 42-20-42.23N 141-02-15.94E [地名]

発見状況: [死亡] 砂浜に漂着

受報時状況: [腐敗進行] 流出防止のために重機で移動

生物情報: 体長:493cm(尾部欠損)[北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部登別出張所] 性別:不明 写真:北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部登別出張所 鯨種判定:SNH

標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓/胃・胃内容物(全量) 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓・血液

九大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 酪農大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓・膵臓・脾臓・腸 道医

大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 北大:脂皮・筋肉/頭骨

通報経路: 匿名住民→北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部登別出張所→SNH



SNH10041 / O-2932

イシイルカ(イシイルカ型) 斜里郡小清水町 / 漂着

発見日: 2010年7月13日

受報日: 2010年7月14日9時17分

発見場所: 斜里郡小清水町字小清水 217 番地 小清水原生花園裏海岸(オホーツク海)

緯度経度: 43-56-33.44N 144-24-52.86E [地名]

発見状況: [死亡] 匿名住民が発見

受報時状況: [腐敗] 網走市郷土博物館が収容

生物情報: 体長:約 120cm[網走市郷土博物館] 性別:不明 写真:網走市郷土博物館 鯨種判定:網走市郷土博物館

通報経路: 匿名住民



SNH10042 / O-2938

カマイルカ 室蘭市 / 漂着

発見日: 2010年7月27日
受報日: 2010年7月27日11時41分
発見場所: 室蘭市東町3丁目 イタンキ浜海水浴場(太平洋)
緯度経度: 42-20-02.61N 141-01-32.37E [地名]
発見状況: [死亡] 海水浴場ライフセーバーが発見
受報時状況: [腐敗] ブルーシートをかけて保管
生物情報: 体長:215cm[SNH 北村] 性別:♀ 写真:北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部登別出張所 鯨種判定:SNH



標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓・血液 酪農大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓・脾臓・腸(全量) 道医大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 北大:脂皮・筋肉/胃・胃内容物(全量)/卵巣(左右)/全身骨格
通報経路: 海岸ライフセーバー→北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部登別出張所→SNH

SNH10043 / O-2941

カマイルカ 室蘭市 / 漂着

発見日: 2010年7月30日
受報日: 2010年7月30日10時47分
発見場所: 室蘭市東町3丁目 イタンキ浜海水浴場(太平洋)
緯度経度: 42-20-02.61N 141-01-32.37E [地名]
発見状況: [死亡]
受報時状況: [腐敗進行] 放置
生物情報: 体長:232.5cm[SNH 北村] 性別:♂ 写真:北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部登別出張所 鯨種判定:SNH



標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓 酪農大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓・腸 道医大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺 北大:脂皮・筋肉/胃・胃内容物(前胃・主胃のみ)/精巣(左右)/頭骨
通報経路: 発見者→北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部登別出張所→SNH

SNH10044 / O-2943

ネズミイルカ 室蘭市 / 漂着

発見日: 2010年7月30日
受報日: 2010年7月30日18時16分
発見場所: 室蘭市東町3丁目 イタンキ浜海水浴場(太平洋)
緯度経度: 42-20-02.61N 141-01-32.37E [地名]
発見状況: [死亡] SNH10044を漂着現場で調査中に、室蘭建設管理部の方が発見
受報時状況: [腐敗進行] 現場にて剖検
生物情報: 体長:131cm(尾部欠損)[SNH 北村] 性別:不明
写真: 鯨種判定:SNH 北村



通報経路: SNH

SNH10045 / O-2944

種不明イルカ類 室蘭市 / 漂着

発見日: 2010年7月31日11時30分
受報日: 2010年7月31日11時31分
発見場所: 室蘭市東町3丁目 イタンキ浜海水浴場 (太平洋)
緯度経度: 42-20-02.61N 141-01-32.37E [地名]
発見状況: [死亡]
受報時状況: [ミイラ・白骨化] 現場にて標本採集後放置
生物情報: 体長:約 100cm(頭部尾部欠損)[SNH] 性別:不明
写真:登別マリンパークニクス 鯨種判定:SNH
通報経路: 登別マリンパーク学芸員吉中敦史→SNH



SNH10046 / O-2945

種不明イルカ類 十勝郡浦幌町 / 漂着

発見日: 2010年8月2日12時13分
受報日: 2010年8月2日14時48分
発見場所: 十勝郡浦幌町昆布刈石 黄金の滝から西に 200m (太平洋)
緯度経度: 42-45-29.18N 143-45-09.00E [地名]
発見状況: [死亡]
受報時状況: [ミイラ・白骨化] 現場にて標本採集後放置
生物情報: 体長:約 160cm[SNH 中司光子] 性別:不明 写真:中司光子 鯨種判定:SNH
通報経路: 中司光子→SNH



SNH10047 / O-2954

イシイルカ(イシイルカ型) 枝幸郡枝幸町 / 漂着

発見日: 2010年8月8日14時00分
受報日: 2010年8月15日9時08分
発見場所: 枝幸郡枝幸町南浜町 弓ヶ浜 (オホーツク海)
緯度経度: 44-55-08.6N 142-35-19.4E [実測]
発見状況: [死亡] 教育委員会よりオホーツクミュージアムえさしに通報
受報時状況: [死亡・新鮮] 埋却済み
生物情報: 体長:160cm[オホーツクミュージアムえさし] 性別:♀ 写真:高島孝宗(枝幸町教育委員会オホーツクミュージアムえさし) 鯨種判定:オホーツクミュージアムえさし
通報経路: 枝幸町教育委員会→オホーツクミュージアムえさし→SNH



SNH10048 / O-2955

種不明イルカ類 目梨郡羅臼町 / 漂着

発見日: 2010年8月13日17時00分
受報日: 2010年8月13日17時00分
発見場所: 目梨郡羅臼町羅臼町幌萌町 40番地の1 羅臼町ごみ焼却場 地先海岸 (根室海峡)
緯度経度: 43-55-24.96N 145-07-06.81E [地名]
発見状況: [死亡] トレッキング中に通報者が発見
受報時状況: [ミイラ・白骨化] 頭骨を回収し、残りは放置
生物情報: 体長:150cm くらい(推定)[桜井憲二] 性別:不明
写真:桜井憲二 鯨種判定:SNH
通報経路: 桜井憲二→SNH



SNH10049 / O-2960

マッコウクジラ 釧路市 / 漂着

発見日: 2010年8月17日10時30分
受報日: 2010年8月17日14時00分
発見場所: 釧路市音別町尺別海岸(太平洋)
緯度経度: 44-52-37.38N 143-55-25.20E [地名]
発見状況: [死亡] 市民より北海道警察へ通報。
受報時状況: [腐敗進行] 情報収集中
生物情報: 体長:16m57cm(残存部)[SNH] 性別:♂と思われる 写真:音別町行政センター 鯨種判定:SNH
標本: 科博:脂皮・筋肉 愛媛大:脂皮・筋肉 酪農大:脂皮・筋肉 道医大:脂皮・筋肉 北大:脂皮・筋肉・骨格

通報経路: 発見者→警察→北海道釧路総合振興局→釧路市音別町行政センター→釧路市水産課→SNH



SNH10050 / O-2961

ツチクジラ 利尻郡利尻富士町 / 漂着

発見日: 2010年8月18日16時00分
受報日: 2010年8月18日17時00分
発見場所: 利尻郡利尻富士町鴛泊字富士岬海岸(日本海)
緯度経度: 45-15-18.6N 141-12-08.1E [実測]
発見状況: [死亡] 海岸線に漂着した状態(死んだ状態)で発見
受報時状況: [腐敗] 情報収集中
生物情報: 体長:910cm[利尻町立博物館 佐藤雅彦] 性別:不明 写真:利尻富士町 鯨種判定:SNH
通報経路: 利尻富士町→宗谷振興局→SNH



SNH10051 / O-2962

種不明イルカ類 目梨郡羅臼町 / 漂着

発見日: 2010年8月17日16時30分
受報日: 2010年8月17日19時56分
発見場所: 目梨郡羅臼町幌萌町海岸線 茶志別川北岸付近(根室海峡)
緯度経度: 43-54-55.19N 145-06-37.15E [地名]
発見状況: [死亡] トレッキング中に通報者が発見
受報時状況: [ミイラ・白骨化] 頭骨を回収し、残りは放置
生物情報: 体長:不明[桜井憲二] 性別:不明 写真:桜井憲二 鯨種判定:SNH
通報経路: 桜井憲二→SNH



SNH10052 / O-2970

種不明イルカ類 目梨郡羅臼町 / 漂着

発見日: 2010年9月4日15時00分
受報日: 2010年9月4日20時29分
発見場所: 目梨郡羅臼町春日町～幌萌町海岸線(根室海峡)
緯度経度: 43-56-16.86N 145-07-34.70E [地名]
発見状況: [死亡] トレッキング中に通報者が発見
受報時状況: [ミイラ・白骨化] 頭骨を回収し、残りは放置
生物情報: 体長:約1m[SNH(写真より推定)] 性別:不明 写真:桜井憲二 鯨種判定:SNH
通報経路: 桜井憲二→SNH



SNH10053 / O-2976

タイハイヨウアカボウモドキ 函館市 / 漂着

発見日: 2010年9月25日5時00分
受報日: 2010年9月25日10時41分
発見場所: 函館市石崎町 石崎バス停付近海岸 (津軽海峡)
緯度経度: 41-45-05.827N 140-53-14.633E [地名]
発見状況: [死亡] 地元住民が発見
受報時状況: [死亡・新鮮] 処分検討中
生物情報: 体長:619cm[SNH] 性別:♀ 写真:SNH 鯨種判定:山田格・SNH

標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓・脾臓・膵臓・血液・乳腺・乳汁・前眼房水/胃・胃内容物・腸・生殖腺(全量)/クジラジラミ/全身骨格 愛媛大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓・血液・乳腺 酪農大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓・膵臓・脾臓 道医大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓 北大:脂皮・筋肉

通報経路: 地元住民→函館市水産課→SNH



SNH10054 / O-2980

種不明イルカ類 幌泉郡えりも町 / 漂着

発見日: 2010年9月29日16時30分
受報日: 2010年10月1日11時35分
発見場所: 幌泉郡えりも町字えりも岬 百人浜 (太平洋)
緯度経度: 41-59-03.30N 143-15-02.13E [地名]
発見状況: [死亡] トレッキング中に通報者が発見
受報時状況: [ミイラ・白骨化] 頭骨を回収し、残りは放置
生物情報: 体長:不明 性別:不明 写真:©SNH 鯨種判定:SNH

通報経路: 発見者→SNH

備考: 9月29日簡単に取れた頭骨のみ回収、翌朝 DNA サンプル採取に出向くが、波により流出しなくなっていたため採取できず



SNH10055 / O-2988

シャチ 目梨郡羅臼町 / 漂着

発見日: 2010年10月30日14時30分
受報日: 2010年10月30日15時04分
発見場所: 目梨郡羅臼町春日町海岸 ポン春莉古丹川河口から北へ約300m (根室海峡)
緯度経度: 43-56-53.35N 145-07-43.35E [地名]
発見状況: [死亡] 菊池愛里氏(11才地元住民)が友人と海岸近くで遊んでいて発見。子供たち→匿名住民→羅臼町役場・羅臼ビジターセンター→科博・SNH

受報時状況: [死亡・新鮮] 流出防止のためにテトラポットに固定

生物情報: 体長:581cm[羅臼ビジターセンター] 性別:♀ 写真:桜井憲二 鯨種判定:羅臼ビジターセンター

標本: 科博:脂皮、筋肉、肝臓、腎臓、心臓、肺、子宮、血液、卵巣左右、全身骨格、腸全量、胃、胃内容(各全量) 愛媛大:脂皮、筋肉、肝臓、腎臓、血液、脳、心臓、肺 酪農大:脂皮、筋肉、肝臓、腎臓、心臓 道医大:脂皮、筋肉、肝臓、腎臓 北大:脂皮、筋肉 北里大学:舌(全量) えりも町交流促進センター襟裳岬「風の館」:脂皮

通報経路: 羅臼ビジターセンター→SNH

備考: 10月31日午後より処理場にて剖検予定



SNH10056 / M-1640

ミンククジラ 枝幸郡枝幸町 / 漂着

発見日: 2010年10月27日17時00分
受報日: 2010年11月9日9時10分
発見場所: 枝幸郡枝幸町下幌別 モウツ海岸 (オホーツク海)
緯度経度: 44-54-43.8N 142-35-38.3E [実測]
発見状況: [死亡] 不明
受報時状況: [死亡・新鮮] 体表面の欠損顕著
生物情報: 体長:508cm[オホーツクミュージアムえさし] 性別:
不明 写真:写真なし 鯨種判定:オホーツクミ
ュージアムえさし

通報経路: 枝幸町文化財保護委員 齋藤光行氏→オホーツクミュージアムえさし→役場水産商工課
備考: オホーツクミュージアムえさしが標本を採取しストラレンジングネットワーク北海道に送付した



SNH10057 / O-2993

シャチ 稚内市 / 漂着

発見日: 2010年11月23日17時00分
受報日: 2010年11月24日11時48分
発見場所: 稚内市宗谷村富磯461地先海岸 (日本海)
緯度経度: 45-26-05.2N 141-51-30.2E [実測]
発見状況: [死亡] 現場周辺住民が発見。
受報時状況: [腐敗] 稚内市が処分準備中
生物情報: 体長:704cm[SNH] 性別:♂ 写真:宗谷新聞
鯨種判定:SNH

標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓・脾臓・膵臓・胃・胃内容物・腸・生殖腺(全量) 愛媛大: 脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・肺・心臓 酪農大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 道医大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 オホーツクミュージアム枝幸:全身骨格 北大:脂皮・筋肉

通報経路: 宗谷支庁→SNH



SNH10058 / M-1644

ミンククジラ 紋別市 / 漂着

発見日: 2010年11月27日
受報日: 2010年12月1日12時05分
発見場所: 紋別市弁天町1丁目3-23地先海岸 (オホーツク海)
緯度経度: 44-21-26.82N 143-21-39.46E [地図]
発見状況: [死亡] 午前7時頃に、海浜地の管理をしている紋別市港湾管理事務所に、地元新聞の記者を通じて通報があった。
受報時状況: [腐敗進行] 埋却処分済み
生物情報: 体長:約6m[新聞報道] 性別:♀ 写真:紋別市
鯨種判定:SNH

通報経路: 竹本水産従業員 橋本大さん(25)→北海道新聞→紋別市→SNH
備考: 北海道新聞報道 11/28 朝刊報道



SNH10059 / O-3052

ネズミイルカ 目梨郡羅臼町 / 混獲

発見日: 2010年12月16日2時30分
受報日: 2010年12月16日18時34分
発見場所: 目梨郡羅臼町峯浜沖(根室海峡)
緯度経度: 43-51-48.6N 145-09-12.6E [実測]
発見状況: [死亡]

受報時状況: [死亡・新鮮] 東農大が回収

生物情報: 体長:135.5cm 性別:♂ 鯨種判定:小林万里
標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 愛媛大:脂皮・筋肉・心臓・肝臓・腎臓・脳・血液 日鯨研:筋肉 酪農大:脂皮・筋肉・心臓・肝臓・腎臓・膀胱・脾臓・道医大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・脾臓・血液 北大:脂皮・筋肉 東農大:脂皮・筋肉・肝臓・血液肺・胃・腸・生殖腺・骨格(全量)

通報経路: 桜井憲二→小林万里→SNH

備考: 刺し網で混獲 水深48m



SNH10059 ©桜井憲二

SNH10060 /

ネズミイルカ 目梨郡羅臼町 / 混獲

発見日: 2010年12月18日2時30分
受報日: 2010年12月18日14時36分
発見場所: 目梨郡羅臼町峯浜沖(根室海峡)
緯度経度: 43-51-48.6N 145-09-12.6E [実測]
発見状況: [死亡]

受報時状況: [死亡・新鮮] 東農大が回収

生物情報: 体長:135.4cm 性別:♂ 鯨種判定:小林万里
標本: 科博:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓 愛媛大:脂皮・筋肉・心臓・肝臓・腎臓・脳・血液 日鯨研:筋肉 酪農大:脂皮・筋肉・心臓・肝臓・腎臓・膀胱・脾臓・道医大:脂皮・筋肉・肝臓・腎臓・脾臓・血液 北大:脂皮・筋肉 東農大:脂皮・筋肉・肝臓・血液肺・胃・腸・生殖腺・骨格(全量)

通報経路: 桜井憲二→小林万里→SNH

備考: 刺し網で混獲 水深48m



SNH10060 ©桜井憲二

SNH10061 / M-1611f

ミンククジラ 函館市 / 混獲

発見日: 2010年6月8日
受報日: 2010年6月8日
発見場所: 函館市木直町地先(太平洋)
緯度経度: 41-53-00.0N 141-04-00.0E [地名]
発見状況: [死亡] 大型定置網に混獲。6:00AM 発見。省令に基づき販売。ICRY-10-102

受報時状況: [死亡・新鮮]

生物情報: 体長:7.6m[報告者] 性別:♀ 鯨種判定:日鯨研
標本: DNA 標本(日鯨研)



SNH10062 / M-1613f

ミンククジラ 目梨郡羅臼町 / 混獲

発見日: 2010年6月10日9時00分
受報日: 2010年6月10日
発見場所: 目梨郡羅臼町地先(根室海峡)
緯度経度: 43-53-00.0N 145-06-00.0E [地名]
発見状況: [死亡] さけいか定置網に混獲。9:00AM 発見。省令に基づき販売。ICRY-10-104
受報時状況: [死亡・新鮮]
生物情報: 体長:4.85m[報告者] 性別:♀ 鯨種判定:日鯨研
標本: DNA 標本(日鯨研)

NO PHOTO
AVAILABLE

SNH10063 / M-1614f

ミンククジラ 目梨郡羅臼町 / 混獲

発見日: 2010年6月12日6時00分
受報日: 2010年6月12日
発見場所: 目梨郡羅臼町地先(根室海峡)
緯度経度: 43-53-00.0N 145-06-00.0E [地名]
発見状況: [死亡] 6:00AM 発見。省令に基づき販売。ICRY-10-105
受報時状況: [死亡・新鮮]
生物情報: 体長:6.5m[報告者] 性別:♂ 鯨種判定:日鯨研
標本: DNA 標本(日鯨研)

NO PHOTO
AVAILABLE

SNH10064 / M-1615f

ミンククジラ 函館市 / 混獲

発見日: 2010年7月22日5時00分
受報日: 2010年6月16日
発見場所: 函館市木直町地先(太平洋)
緯度経度: 41-53-00.0N 141-04-00.0E [地名]
発見状況: [死亡] 大型定置網に混獲。5:00AM 発見。省令に基づき販売。ICRY-10-106
受報時状況: [死亡・新鮮]
生物情報: 体長:5.5m[報告者] 性別:♀ 鯨種判定:日鯨研
標本: DNA 標本(日鯨研)

NO PHOTO
AVAILABLE

SNH10065 / M-1624

ミンククジラ 函館市 / 混獲

発見日: 2010年7月29日15時00分
受報日: 2010年7月22日
発見場所: 函館市白尻町地先(太平洋)
緯度経度: 41-58-00.0N 140-57-00.0E [地名]
発見状況: [死亡] 大型定置網に混獲。15:00 発見。省令に基づき販売。宮城県の鮎川捕鯨で処理。ICRY-10-114
受報時状況: [死亡・新鮮]
生物情報: 体長:6.6m[報告者] 性別:♀ 鯨種判定:日鯨研
標本: DNA 標本(日鯨研)

NO PHOTO
AVAILABLE

SNH10066 / M-1626

ミンククジラ 根室市 / 漂着

発見日: 2010年8月3日
受報日: 2010年7月29日
発見場所: 根室市桂木(太平洋)
緯度経度: 43-19-00.0N 145-37-00.0E [地名]
発見状況: [死亡] 午前発見。調査後埋却。SICRY-10-005。
受報時状況: [不明]
生物情報: 体長:4.5m[報告者] 性別:♂ 鯨種判定:日鯨研
標本: 脂皮(日鯨研)、SNH

NO PHOTO
AVAILABLE

SNH10067 / M-1627

ミンククジラ 根室市 / 漂着

発見日: 2010年8月4日
受報日: 2010年8月3日
発見場所: 根室市花咲港(太平洋)
緯度経度: 43-17-00.0N 145-35-00.0E
発見状況: [死亡] ゴミ処理場に埋却。日鯨研DNA分析で種確認(100826 後藤睦夫)。SICRN-10-006
受報時状況: [不明]
生物情報: 体長:[報告者] 性別: 鯨種判定:日鯨研
標本: 脂皮(日鯨研)

NO PHOTO
AVAILABLE

SNH10068 / O-2946

オキゴンドウ 厚岸郡浜中町 / 漂着

発見日: 2010年9月14日6時30分
受報日: 2010年8月4日
発見場所: 厚岸郡浜中町恵茶人海岸(太平洋)
緯度経度: 43-10-00.0N 145-16-00.0E
発見状況: [死亡] 解体された跡有り。体長約8ft。
受報時状況: [不明] 解体された跡あり。
生物情報: 体長:約8ft[報告者] 性別: 鯨種判定:日鯨研

NO PHOTO
AVAILABLE

SNH10069 / M-1634f

ミンククジラ 枝幸郡枝幸町 / 混獲

発見日: 2010年9月14日
受報日: 2010年9月14日
発見場所: 枝幸郡枝幸町山白地先(オホーツク海)
緯度経度: 44-50-00.0N 142-41-00.0E
発見状況: [死亡] サケ定置網にて混獲。6:30AM 発見。網外へ出そうとするが死亡。省令に基づき販売。ICRY-10-122
受報時状況: [死亡・新鮮]
生物情報: 体長:4.2m[報告者] 性別:♂ 鯨種判定:日鯨研
標本: DNA 標本(日鯨研)

NO PHOTO
AVAILABLE

SNH10070 / M-1638f

ミンククジラ 函館市 / 混獲

発見日: 2010年11月6日7時30分
受報日: 2010年11月6日
発見場所: 函館市尾札部町地先(太平洋)
緯度経度: 41-54-00.0N 141-02-00.0E
発見状況: [死亡] 7:30AM 発見。省令に基づき販売。
ICRY-10-125
受報時状況: [死亡・新鮮]
生物情報: 体長:6.5m[報告者] 性別:♀ 鯨種判定:日鯨研
標本: DNA 標本(日鯨研)

NO PHOTO
AVAILABLE

SNH10071 / M-1643f

ミンククジラ 茅部郡森町 / 混獲

発見日: 2010年11月24日14時15分
受報日: 2010年11月24日
発見場所: 茅部郡森町砂原西4地崎沖(噴火湾)(太平洋)
緯度経度: 42-08-00.0N 140-39-00.0E
発見状況: [死亡] 14:15 発見。省令に基づき販売。
ICRY-10-129
受報時状況: [死亡・新鮮]
生物情報: 体長:6.5m 性別: 鯨種判定:日鯨研
標本: DNA 標本(日鯨研)

NO PHOTO
AVAILABLE

研究業績

SNH の情報・標本等を利用して行われた研究の成果

学術論文

1. Asakawa M (2010) Ecotourism with utilization of wild animals - Its impact on conservation medicine and risk assessment in Hokkaido, Japan. In: (Eds. Anton Krause and Erich Weir) Ecotourism: Management, Development and Impact Nova Science Publishers, New York: 227-240
2. Asakawa M (2010) Conservation medical education performed by for the Wild Animal Medical Center (WAMC) in Rakuno Gakuen University. Asian J Biol Education 4: 76
3. Nomiyama K, Eguchi A, Ochiai M, Mizukawa H, Murata S, Isobe T, Yamada TK, Takahashi S, Tanabe S (2010) Accumulation Features of Hydroxylated Polybrominated Diphenyl Ethers (OH-PBDEs) in the Blood of Toothed and Baleen Whales Stranded At Japanese Coastal Waters. Organohalogen Compounds 72: 864-867
4. Ochiai M, Nomiyama K, Isobe T, Matsuishi T, Yamada TK and Tanabe S (2010) Polychlorinated biphenyls (PCBs) and hydroxylated PCBs (OH-PCBs) in three porpoise species: accumulation features and metabolic capacity. Organohalogen Compounds 72: 1027-1030
5. Taguchi M, Chivers SJ, Rosel PE, Matsuishi T Abe S (2010) Mitochondrial DNA phylogeography of the harbour porpoise *Phocoena phocoena* in the North Pacific. Marine Biology 157: 1489-1498
6. Taguchi M, Ishikawa H, Matsuishi T (2010) Seasonal distribution of harbour porpoise (*Phocoena phocoena*) in Japanese waters inferred from stranding and bycatch record. Mammal Study 35: 133-138
7. 浅川満彦 (2010) 2009 年度における酪農学園大学野生動物医学センターWAMC の活動報告(その1). 北海道獣医師会誌 54: 21-24
8. 浅川満彦 (2010) 2009 年度における酪農学園大学野生動物医学センターWAMC の活動報告(その2). 北海道獣医師会誌 54: 69-73
9. 浅川満彦 (2010) 動物の病気と診断. In: (石原勝敏ほか編)『生物の辞典』朝倉書店: 332-335
10. 浅川満彦 (2010) 最近日本各地で座礁したクジラ類から発見された寄生性蠕虫および節足動物の概要. 獣医寄生虫学会誌 9: 58
11. Ochiai M, Nomiyama K, Isobe T, Matsuishi T, Yamada TK, Tanabe S (2011) Inter-species Differences of Hydroxylated Polychlorinated Biphenyls (OH-PCBs) in the Blood of Small Cetaceans. In Proceedings of Interdisciplinary Studies on Environmental Chemistry Vol. 5 Modeling and Analysis of Marine Environmental Problems, Koji Omori, Xinyu Guo, Naoki Yoshie, Naoki Fujii, Itsuki C. Handoh, Atsuhiko Isobe, and Shinsuke Tanabe, (Eds) TERAPUB, Tokyo: 213-220
12. Saito A, Isobe T, Matsuishi T, Yamada TK, Tajima Y, Tanabe S (2011) Accumulation of Brominated Flame Retardants in Harbour and Dall's Porpoises from Hokkaido. In Proceedings of Interdisciplinary Studies on Environmental Chemistry Vol. 5 Modeling and Analysis of Marine Environmental Problems, Koji Omori, Xinyu Guo, Naoki Yoshie, Naoki Fujii, Itsuki C. Handoh, Atsuhiko Isobe, and Shinsuke Tanabe, (Eds) TERAPUB, Tokyo: 221-228
13. 松石隆 (2011) 話題: ストランディングネットワークとその学術的意義. 日本水産学会誌 77: 296-299

学位論文

1. Taguchi M (2010) Global genetic population structure and phylogeography of harbour porpoise (*Phocoena phocoena*) inferred from mitochondrial DNA variation. 博士論文(北海道大学大学院水産科学院)
2. 落合真理 (2011) Accumulation of anthropogenic and natural origin organohalogen compounds in three porpoise species. 修士論文(愛媛大学大学院農学研究科)
3. 斉藤亜実 (2011) 北日本沿岸に漂着したハクジラ類の臭素系難燃材汚染. 修士論文(愛媛大学大学院農学研究科)

学会発表

1. 松石隆・田口美緒子 (2008) 2007年度北海道沿岸のストランディングレコード.日本セトロロジー研究会第19回大会 2008年6月15日, KKRホテル金沢(石川)
2. 谷田部明子・松石隆・福島広行・東出幸真・工藤英美・和田昭彦・北村志乃・山田格 (2008) 2007-2008年に漂着したオオギハクジラ.日本セトロロジー研究会第19回大会 2008年6月15日, KKRホテル金沢(石川)
3. Taguchi M, Abe S, Matsuishi T (2008) Genetic variation of harbour porpoise in Japanese waters.5th World Fisheries Congress 2008年10月24日, パシフィコ横浜(神奈川)
4. 田口美緒子・阿部周一・松石隆 (2009) 北太平洋と周辺海域におけるネズミイルカの分子系統地理学的解析.平成21年度日本水産学会春季大会 2009年3月28日, 東京海洋大学(東京)
5. 松石隆・田口美緒子・北村志乃 (2009) 2008年度北海道沿岸のストランディングレコード.日本セトロロジー研究会第20回大会 2009年6月20日, 北九州市立自然史・歴史博物館「いのちのたび博物館」(福岡)
6. 西田伸・曾根恵海・松石隆・小池裕子 (2009) ネズミイルカ(*Phocoena phocoena*)の日本近海における衛星追跡(予報).日本セトロロジー研究会第20回大会 2009年6月20日, 北九州市立自然史・歴史博物館「いのちのたび博物館」(福岡)
7. 石川恭平・佐々木基樹・田口美緒子・松石隆・坪田敏男・横山知里・早川大輔・北村延夫 (2009) ネズミイルカ精巢の性ステロイドホルモン合成に関する免疫組織化学的研究.第15回野生動物医学会大会 2009年9月5日, 富山大学(富山)
8. 峯弘・佐々木基樹・田口美緒子・松石隆・山田一孝・北村延夫 (2009) ネズミイルカ前肢骨格の可動域に関するCT画像解析.第15回野生動物医学会大会 2009年9月5日, 富山大学(富山)
9. 浅川満彦 (2010) 最近座礁したクジラ類から検出された蠕虫類およびフジツボ類—その概要と現地調査状況の紹介.日本生物地理学会第65回年次大会 2010年4月3日, 立教大学(東京)
10. 浅川満彦 (2010) 日本各地で座礁したクジラ類から検出された蠕虫類およびフジツボ類(概要).第79回日本寄生虫学会大会 2010年5月20日, 旭川医科大学(北海道)
11. 斎藤亜実・磯部友彦・松石隆・山田格・田島木綿子・田口美緒子・北村志乃・田辺信介 (2010) 北海道沿岸に漂着したネズミイルカ(*Phocoena phocoena*)およびイシイルカ(*Phocoenoides dalli*)の臭素系難燃剤汚染.日本セトロロジー研究会第21回大会 2010年6月19日, 北里大学獣医学部(青森)
12. 松石隆・田口美緒子・北村志乃 (2010) 北海道沿岸における2009年のストランディングレコード.日本セトロロジー研究会第21回大会 2010年6月19日, 北里大学獣医学部(青森)
13. 北村志乃・松石隆・山田格・石川創・田辺信介・中川元・阿部周一 (2010) ツチクジラ属の遺伝的変異と分子系統.日本セトロロジー研究会第21回大会 2010年6月19日, 北里大学獣医学部(青森)
14. 落合真理・野見山桂・磯部友彦・松石隆・山田格・田辺信介 (2010) ネズミイルカ科の小型鯨類に残留するPCBsと水酸化代謝物(OH-PCBs)の蓄積特性.日本セトロロジー研究会第21回大会 2010年6月19日, 北里大学獣医学部(青森)
15. 斎藤 亜実・磯部 友彦・松石 隆・山田 格・田辺 信介 (2010) 臭素系難燃剤によるネズミイルカおよびイシイルカの汚染実態と蓄積特性.第19回環境化学討論会 2010年6月21日, 中部大学(愛知)
16. 野見山 桂・落合真理・江口哲史・水川葉月・村田仁子・山田 格・高橋 真・田辺信介 (2010) 日本沿岸に座礁したハクジラ類およびヒゲクジラ類から検出された血中水酸化PBDEs(OH-PBDEs)の蓄積特性.第19回環境化学討論会 2010年6月21日, 中部大学(愛知)
17. 落合真理・野見山桂・水川葉月・江口哲史・高橋 真・松石 隆・山田 格・田辺信介 (2010) ネズミイルカ科の小型鯨類から検出された有機ハロゲン代謝物の蓄積特性.第19回環境化学討論会 2010年6月21日, 中部大学(愛知)
18. 浅川満彦 (2010) 海棲哺乳類の寄生虫学検査-概要と実際.国立科学博物館海棲哺乳類研究法トレーニングセミナーおよび日本野生動物医学会SSC 2010年7月31日, 国立科学博物館新宿分館(東京)
19. Asakawa M (2010) An outline of parasitological examination of marine mammals.Marine Mammal Researching Seminar 2010年8月30日, 国立科学博物館(東京)
20. Matsuishi T (2010) Organizing Stranding Network.Marine Mammal Researching Seminar 2010年8月30日, 国

立科学博物館新宿分館(東京)

21. Nomiya K, Eguchi A, Ochiai M, Mizukawa H, Murata S, Isobe T, Yamada TK, Takahashi S, Tanabe S (2010) Accumulation features of hydroxylated polybrominated diphenyl ethers (OH-PCBs) in the blood of toothed and baleen whales stranded at Japanese coastal waters.30th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (DIOXIN 2010) 2010年9月12日, San Antonio (Texas)
22. Ochiai M, Nomiya K, Isobe T, Matsuishi T, Yamada T, Tanabe S (2010) Polychlorinated biphenyls (PCBs) and hydroxylated PCBs (OH-PCBs) in three porpoise species: accumulation features and metabolic capacity.30th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (DIOXIN 2010) 2010年9月12日, San Antonio (Texas)
23. Ochiai M, Nomiya K, Isobe T, Matsuishi T, Yamada TK, Tanabe S (2010) Inter-species differences of hydroxylated polychlorinated biphenyls (OH-PCBs) in the blood of small cetaceans.The 5th Global COE International Symposium on Modeling Analysis of Marine Environmental Problems (MAMEP 2010) 2010年9月22日, 愛媛大学(愛媛)
24. Saito A, Isobe T, Matsuishi T, Yamada TK, Tajima Y, Tanabe S (2010) Accumulation of brominated flame retardants in harbour and Dall's porpoises from Hokkaido.The 5th Global COE International Symposium on Modeling Analysis of Marine Environmental Problems (MAMEP 2010) 2010年9月22日, 愛媛大学(愛媛)
25. 北村志乃・松石隆・山田格・石川創・田辺信介・中川元・阿部周一 (2010) ツチクジラ属の遺伝的変異と分子系統.平成22年度日本水産学会秋季大会 2010年9月22日, 京都大学(京都)
26. 浅川満彦 (2010) クジラ類における寄生虫学的研究—その目的と問題点.マンマルゼミ(北海道哺乳類学研究者若手グループ)2010年度大会 2010年12月21日, 東京農業大学オホーツクキャンパス(北海道)
27. 村瀬真弓・浅川満彦 (2011) 座礁あるいは混獲クジラ類の寄生虫学的研究の動向と課題(概説紹介).日本生態学会第58回大会自由集会「感染症からみた野生動物の保護管理」2011年3月8日, 札幌コンベンションセンター(北海道)
28. 浅川満彦・村瀬真弓 (2011) クジラ類の座礁・混獲個体における寄生蠕虫疫学調査の最近事例.第30回獣疫学会学術集会 2011年4月1日, 東京農工大学(東京)
29. 磯部友彦・斎藤亜実・松石 隆・北村志乃・松田純佳・小林万里・田島木綿子・山田 格・田辺信介 (2011) 北海道沿岸に漂着・混獲した小型鯨類の化学汚染研究:ネズミイルカ(*Phocoena phocoena*)とイシイルカ(*Phocoenoides dalli*)の有機ハロゲン化合物汚染の実態解明.日本セトロジー研究会第22回大会 2011年6月17日, 名古屋港水族館(愛知)
30. 小野雄大・松石隆 (2011) 鯨類の捕食が MSY に与える影響 —サンマとスケトウダラを例に—.日本セトロジー研究会第22回大会 2011年6月17日, 名古屋港水族館(愛知)
31. 松石隆・北村志乃・松田純佳 (2011) 北海道沿岸における 2010 年のストランディングレコード.日本セトロジー研究会第22回大会 2011年6月17日, 名古屋港水族館(愛知)
32. 落合真理・野見山桂・磯部友彦・山田格・田島木綿子・松石隆・天野雅男・田辺信介 (2011) ネズミイルカ科の小型鯨類に蓄積する人為・天然起源 OH-PBDEs.日本セトロジー研究会第22回大会 2011年6月17日, 名古屋港水族館(愛知)

新聞等報道

1. 北海道新聞 (2010年3月31日) 海岸にたびたび漂着 処理費用は自治体負担 海獣死骸 悩みの種
2. 北海道新聞 (2010年4月8日) 落部漁港にクジラ 体長10メートル 浅瀬に乗り上げ死亡
3. 北海道新聞 (2010年4月9日) 全長11メートル 情報満載 マッコウクジラ漂着 解体し研究材料に
4. 北海道新聞 (2010年4月9日) 定置網にネズミイルカ 函館・南茅部沖で今年初 北大実験所のプールへ
5. 北海道新聞 (2010年4月9日) 八雲・落部漁協のクジラ 死骸処理「大きすぎる」 解体まで2日かかり
6. 北海道新聞 (2010年5月7日) 津軽海峡でイルカを見よう フェリーの船上からウオッチ 今月がピーク
7. 函館新聞 (2010年9月26日) 石崎町にクジラ漂着 珍しい種類? 貴重な資料に
8. 北海道新聞 (2010年9月26日) クジラ 世界的珍種!? 函館に死骸漂着
9. 函館新聞 (2010年9月27日) 漂着クジラ 希少種と判明 世界で十数頭確認 国内2例目
10. 朝日新聞 (2010年9月27日) 珍種クジラ 函館漂着 国内2例目タイヘイヨウアカボウモドキ
11. 読売新聞 (2010年9月27日) 珍種クジラ 函館に漂着 国内2例目
12. 北海道新聞 (2010年9月27日) 函館漂着クジラ 国内2例目珍種 調査組織など確認
13. 毎日新聞 (2010年9月28日) 希少クジラ:名前は「タイヘイヨウアカボウモドキ」です 函館に死骸漂着
14. 北海道新聞 (2010年10月30日) 鯨肉販売量 今年倍増 6、7日に北水祭
15. 子供の科学 (2010年11月10日) 幻のクジラ タイヘイヨウアカボウモドキ漂着!
16. 日刊宗谷 (2010年11月26日) 漂着シャチは国内最大一オホーツクミュージアムえさし骨格標本を展示へ
17. 日刊宗谷 (2010年11月27日) シャチの骨格枝幸へー北大など調査チームが解体

2010年スタンディングネットワーク北海道活動報告書

2011年6月18日発行

スタンディングネットワーク北海道 発行

〒041-8611 北海道函館市港町3-1-1

北海道大学 松石研究室内

電話: 090-1380-2336

e-mail: kujira110@gmail.com

URL: <http://snh.seesaa.net>

掲載されている写真や情報には著作権があります。
利用する場合は、スタンディングネットワーク北海道にご相談下さい。